

「ディスカバー^{むら}農山漁村の宝」有識者懇談会委員

- あん・まくどなると 上智大学大学院教授、慶應義塾大学特任教授
- 今村 司 日本テレビ放送網(株)事業局長
- 織作 峰子 大阪芸術大学教授、写真家
- 田中 里沙 事業構想大学院大学学長、(株)宣伝会議取締役
- 永島 敏行 俳優、(有)青空市場代表取締役
- (座長) 林 良博 国立科学博物館館長
- 藤井 大介 (株)大田原ツーリズム代表取締役社長、
(株)ファーム・アンド・ファーム・カンパニー代表取締役社長
- 三國 清三 オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ
- 向笠 千恵子 フードジャーナリスト、食文化研究家、
郷土料理伝承学校校長
- 横石 知二 (株)いろどり代表取締役社長

(五十音順：敬称略)

「ディスカバー農山漁村の宝」の選定方針等について

「ディスカバー農山漁村の宝」の注目度を高めるとともに、地方創生に向けた現下の**重要政策との連携を強める**ことにより、農山漁村活性化の**優良事例の発掘**と全国への**横展開**がより**効果的に実施**されるよう、以下の取組を継続。

自薦及び他薦による応募

「地域おこし協力隊」・「地方創生コンシェルジュ」
等を通じた新規公募の掘り起こし

公募全体(公募期間:6月15日～8月21日)

※公募期間中にシンポジウム等のイベントを開催し、盛り上げを図る

有識者委員による審査

選定地区

(各ブロックから2地区程度。合計20地区程度)

(10月下旬頃決定)

最優良事例を「グランプリ」として選定

政策テーマ(農泊、ジビエ、輸出、女性・高齢者・障害者の活躍、六次産業化等)に資する取組を、「特別賞」として選定

有識者委員による審査

グランプリ及び特別賞は、有識者懇談会後の交流会において発表

グランプリ
(1地区)

特別賞
(数地区程度)

(11月下旬頃決定)

「ディスカバー農山漁村の宝」(第1回)選定地区の選定後の取組状況は以下のとおり。



知名度の向上・来客数、売上げの伸び、地域への波及

<東北 食のカプロジェクト(宮城県仙台市)>

◎生産者と飲食店をつなぐコラボイベントの開催で地域おこし

- 受賞後、東京都人形町に女川町と提携した飲食店をオープンし東京進出。さらに、門前仲町に2号店をオープン
- 生産者と飲食店をつなぐ為の販路拡大を軸に、コラボイベントなどを開催。平成28年度も規模が拡大し、イベント参加店舗数192店舗(対前年246%)、売上6,100万円(対前年234%)に増加



選定証授与式・交流会
(26年6月)



東北 食のカプロジェクト

<守山女性部加工組合(長崎県雲仙市)>

◎伝統野菜「雲仙こぶ高菜」の栽培と加工品の開発・販売で地域おこし

- 月1回のNBC長崎ラジオへの出演による情報提供を実施。さらに、BSフジやマレーシアの日本紹介番組にも出演。年間の講演依頼は12回を数えるほか、40団体1,500人の視察を受入れるなど、情報発信の機会が増大。
- また、知名度向上に加え、商品に希少価値、付加価値を付与する販売方法とすることにより、選定後2年間で、年間の来訪者数は、4,800人から15,000人に、年間売上げは、840万円から1,800万円に増加したほか、取引先も11件増加



守山女性部加工組合

<有限会社今帰仁アグー(沖縄県今帰仁村)>

◎在来家畜資源「琉球豚」を活用した加工食品の販売による地域おこし

- 知名度の向上に伴い、アメリカやタイの海外テレビ局からの取材や、NHKやRBCによる報道、新聞や新幹線車内紙等に掲載される機会が増加
- 受賞を契機に、2年間で高級レストランや割烹店などの取引先を新たに5店舗獲得
- 年間売上げも平成28年度3,900万円(対前年115%)に増加。需要増加に対応するため生産量を30頭/月から、50頭/月体制にシフトすることとし、段階的に増頭



有限会社 今帰仁アグー

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回)選定後の効果について

「ディスカバー農山漁村の宝」(第2回)選定地区の選定後の取組状況は以下のとおり。



知名度の向上・来客数、売上げの伸び、地域への波及

<新湊漁業協同組合(富山県射水市)>

◎カニ給食や昼セリ見学など、漁協発の食育活動

- カニ給食や昼セリの様子が日本テレビの「NEWS every」や「真相報道バンキシャ！」等の全国放送で取り上げられ知名度が向上
- 「新湊カニかに新鮮白えび祭り」の来場者数が平成26年度4万人が平成28年度4.5万人(113%)に増加したほか、「昼セリ」の来場者数(平成28年度第1四半期)が、3,400人と平成27年同期(2,400人)と比べ4割増加

<相差海女文化運営協議会(三重県鳥羽市)>

◎地域固有の海女文化を世界へ発信

- 海女小屋体験など国内外のテレビ、雑誌等で取り上げられ、知名度の向上が図られた
- 受賞前と受賞後の8月～10月の売上げを比べると、平成28年は3,000万円(平成27年2,400万円)と126%増加
- 観光を学ぶ大学生の視察や自治会の視察が増加

<社会福祉法人E.G.F(山口県萩市)>

◎障害者が力をあわせ未来の農業を支える本物づくり

- 受賞後、行政、研究機関、大学、福祉団体から農福連携や6次産業化への取組の視察、問合せが増加
- イチゴを始めとする農産物全体の品質の高さが評価され、訪問者や購買客が増加したことで、平成28年度は売上げが2,276万円(見込)に増加(対前年175%)
- 平成28年4月に野菜のカット工場を建設し、2ト/月生産するなど、さらなる6次産業化の取組を推進

<遠野・住田ふるさと体験協議会(岩手県遠野市)>

◎農家民宿や廃校を活用して企業研修・交流の促進

- 受賞後、農林水産大臣による表敬訪問のほか、8件の講演依頼、9団体の視察受入れ
- 平成28年度は、交流人口が2,800人に増加(対前年167%)。また、インバウンドの受入体制が地域全体に波及



選定証授与式・交流会
(27年10月)



新湊漁業協同組合



相差海女文化運営協議会



社会福祉法人 E.G.F



遠野・住田ふるさと体験協議会

「ディスカバー農山漁村の宝」(第3回)選定後の効果について

「ディスカバー農山漁村の宝」(第3回)選定地区の選定後の取組状況は以下のとおり。



知名度の向上・来客数、売上げの伸び、地域への波及

<株式会社 べっかい乳業興社(北海道別海町)>

◎「ミルク王国べっかい」の味をお届けします

○牛乳に加え、平成28年度は、特に、ヨーグルト、ソフトクリーム原料等の加工品の販売が伸び、ヨーグルトの売上額は、1,170万円(H27年度960万円)に増加

○また、ギフト商品の売上額も、平成28年度は、5,170万円(H27年度4,500万円)に増加

<高千穂ムラたび協議会(宮崎県高千穂町)>

◎限界集落が挑戦する 未来のムラづくり

○受賞後、政府インターネットテレビ等に取り上げられ知名度の向上が図られた

○生産している6次化商品であるあまぎけや乳酸菌飲料の全国展開が加速。沖縄から北海道まで販路が徐々に拡大し、あまぎけの出荷本数も30,000本/月(H28.8)から50,000本/月(H29.3)へと増加して業績が拡大

○宿泊を含む協議会全体の売上高も、平成28年度は6,000万円(H27年度3,400万円)に伸びる見込み。

<木頭ゆずクラスター協議会(徳島県那賀町)>

◎6次産業化を核とした「木頭ゆず」産地の活性化

○平成29年1月にフランス・パリにおいて有名料理人やジャーナリスト約50人を招いて「木頭ゆず賞味会」を開催。イベント終了後も有名なホテルからの問い合わせが続いており、世界的に有名な高級パティスリーとも商談が進んでいる

○平成28年度は、1.7ト(輸出額はH27年度のほぼ倍の200万円)を輸出。また、平成29年度に向けてフランスランジス市場で「青ゆず」最大2トの取引が成立

<一般社団法人 信州いいやま観光局(長野県飯山市)>

◎グリーン・ツーリズムを核とした日本版DMOのトップランナー

○受賞後、観光庁の広域観光周遊ルートの東京圏大回廊(自然大回廊コース)に選定

○レストランかまくら村の開催期間中(H29.1.27~2.28)の来場者数は、3,400人(H28は2,300人)に増加し、売上も750万円に(H28は490万円)増加。



選定証授与式・交流会
(28年12月)



株式会社べっかい乳業興社



高千穂ムラたび協議会



木頭ゆずクラスター協議会



一般社団法人 信州いいやま観光局

むら

これまでの「ディスカバー農山漁村の宝」に関する情報発信

○政府広報等テレビ番組による情報発信

- ・政府インターネットテレビ「徳光・木佐の知りたい！ニッポン」を通じた選定地区紹介
- ・政府広報番組「霞ヶ関からお知らせします」を通じた選定地区紹介



政府インターネットテレビでの紹介

○農林水産省の広報・メディア等による情報発信

- ・農林水産省広報紙(AFF)、農林水産省HP(「Authentic Visit Japan」訪日旅行者向けの選定地区の紹介動画の発信を含む)、農林水産省メールマガジン、農村振興局Facebookを通じた情報発信
- ・農林水産省の「消費者の部屋」でのパネル展示



農水省HPで訪日旅行者向けに選定地区の紹介動画を発信

○有識者委員による雑誌等による情報発信

- ・「月刊事業構想(2017年2月号)」【田中委員】による認定証授与式等の紹介
- ・「ひととき」⑩2016(新幹線車内誌)、福井新聞連載「食は福井にあり」【向笠委員】による選定地区の紹介



農林水産省広報誌で紹介

○個別企業による情報発信

- (よしもとクリエイティブ・エージェンシーとの連携)
- ・なんばグランド花月劇場(大阪市)に「ディスカバー農山漁村の宝」コーナーを設置し選定地区の取扱い産品等を販売

○大臣等による選定地区への現地訪問

- ・磯崎農林水産副大臣による選定地区の視察(早和果樹園)
- ・佐藤政務官による選定地区の視察(やんばる畑人プロジェクト)



地方農政局による応募団体事例集の作成